

第42期事業発展計画発表会の開催

6月15日、第42期事業発展計画発表会が開催されました。
今年のスローガンは「美しいふるさとを守る」です。



今期の会社の重要方針を
発表する山根社長。



真剣に聴講する皆さん

社員代表として決意表明をする野々村社員。



懇親会では、ニセドクター・
ニセ患者・ニセナースが出没
して大騒ぎ!!
大いに盛り上がり、皆さん、
大爆笑でした。



今期の3つの重要方針を山根社長が
発表しました

- ①安全対策を実行する。
- ②BCP（事業継続計画）を策定し、実施する。
- ③その結果、この山陰になくてはならない人と会社になる。

「周りからお客様から素晴らしいといわれる人と会社になる」ことで、お客様から強く必要とされます。そして、

地域のお客様のご繁栄に役立つことで、地域社会に貢献していきます。

そして、エネルギーサポート事業部野々村社員が社員を代表して、決意表明を行いました。エネルギーで、力強い言葉で、すべての社員を奮い立たせるものでした。必ずや今期の目標は達成されるに違いありません。

明日から行動に移し、目標に向かって進みます。
(長野)

基調講演

成功の源は、自分の生き方・
考え方にある

—松下幸之助にまなぶ—

中塾 主宰 中 博 様



松下幸之助は、松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）の創業者です。1894年、和歌山県に生まれ、世界的な総合家電メーカーである松下電器を一代で築いた人物として、戦後日本を代表する実業家のひとりに数え上げられます。中博様は、大学卒業後、松下電器産業株式会社に入り、松下幸之助から直接、薫育を受けられました。このたびのテーマである、「成功の源は、自分の生き方・考え方にある」を松下幸之助から直接学んでおられ、その体験に基づいた講話に、皆が真剣に聞き入りました。その中で次の言葉が特に印象的でした。

「困っても困らない。こけたら、立たなあかんねん」

これは松下電器産業株式会社の経営の根幹を貫いています。また、中塾の標語にもなっています。自分の人生で、困ることは必ずあります。しかし、「困っても困らない。こけたら、立たなあ



かんねん」と思った瞬間に人生が変わります。

「受け容れる」

松下幸之助の生家は大地主で裕福な家庭でしたが、幸之助が幼い頃に、父親が株で大損し貧乏のどん底に落ちてしまいました。そして、幸之助は小学校を中退し、満9歳にして親元を離れ、単身大阪に出て丁稚奉公に勤めるようになります。幸之助は目の前にある現実を受入れ、自分から溶け込んでいくのです。一日一日を真摯に受入れ、頑張った結果、今日のパナソニックがあるのです。

「人間力こそ」

運を引っ張ってくるのは、その人の生き方であり、考え方です。すべては、積極的な人間力をつけるしかありません。強い信念をもって、習慣を変えます。そして、人格が変わり、人間力がつき、運命が変わり、人生が変わっていくのです。

今回の講演は、経営の根幹を優しく説いています。「講話の中の10項目出来たら、大成功者になれます。1項目でもできたら、悩んでいることが突破でき、明るい将来が描けると思う」と、中博様が言われ、心強く感じました。（長野）

島根中央信用金庫

的場理事長から祝辞を頂きました。



島根中央信用金庫 的場理事長

歴史ある発表会を開催され、社長はじめ社員の皆さんの熱心さを感じています。

日本経済は、アベノミクスで明るさはあるものの、中小企業への恩恵は希薄です。今後10年間で国民所得の成長率2%、10年後には150万円の増加を見込んでいます。世界と向き合うにはどうしたらいいか、具体的なことが示されます。国家戦力で景気が回復し、自社独自の施策で汗をかき、その過程のなかで景気が回復すればいいと感じます。

昨日、出雲市のある企業に安部総理が視察に来られました。企業も業種にとらわれず、公的支援などをうまく利用し、いろいろなことに挑戦しています。そういった分野にも目をむけ、今後の成長に期待します。（一部抜粋）

会社の発展のためにがんばってくれた社員が表彰されました

《 青春の会 》



写真左より、石橋社員、鎌田社員、福島社員、千賀取締役、(株)東京システムベース 木島社長。

今までに培われた経験と技術で、山陰興業のさらなる発展に寄与してくださる先輩達の会で。今後も私たちと共に。

《 社長賞 》



写真左より、山根社長、岡田社員、榎並主任、木村憲社員、大國リーダー、高橋社員、金森社員、松本社員

41期は、下記のような活躍がありました！

榎並主任…第41期年間部門目標を達成するために、お客様と細かく打ち合わせを行い、工程短縮を図った。社員の努力の結果、10ヶ月で当初目標を達成した。

岡田社員…C重油タンクの壁面からの漏洩事故が発生するや、ただちに対応した。

強いリーダーシップを持ち、ち密かつ安全な工程管理を実行し被害を最小限に防いだ。

大國リーダー…収集量対前年21%アップ。

訪問件数対前年335件アップ(119%)

松本社員…収集量対前年0.4%アップ。

訪問件数対前年23件アップ(101%)

金森社員…収集量対前年1%アップ。訪問件数対前年9件アップ(100.2%)

バイオ再生重油プロジェクトチーム(木村憲・高橋)…再生重油・バイオ再生重油のJIS化認定に際し、燃焼実証実験を行い数値データを提供し、経済産業省より認証を受ける根拠となった。

青 春

サムエル・ウルマン

青春とは人生のある期間ではなく、心の持ちかたを言う。薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな手足ではなく、たくましい意思、ゆたかな想像力、炎える情熱をさす。青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

青春とは臆病さを退ける勇気、安きにつく気持ち振り捨てる冒険心を意味する。ときには、20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。

《 永年勤続賞 》



写真左より、高橋社員、山根社長

「あっという間の10年だった。いろいろな業務をやらせてもらったが、全てが、自分の糧となっている。今やっている業務が、福祉と一緒にあった取り組みで社会的な意義がある。今後も続けていきたい。」(高橋)

《 協力賞 》



写真左より、山根社長、恩村社員、吾郷リーダー、藤原拓社員、山口統括リーダー

お客様先で、車検・タイヤ購入・施設利用など、協力した社員へ授与されました。

表彰された皆さん、おめでとうございます！！



美しいふるさとを守る（注）

・周りから、お客さまから素晴らしいと言われる社員と会社になる・

社長 山根久志

第4回使用済み食用油回収プロジェクト全体会議が、先日松江市で開かれました。島根県障がい者支援センター、NPO法人など。全国オイルリサイクル協同組合。そして私たち業者。オブザーバーとして島根県の関係部署、新しい産業を支援する県の部署のメンバーほかが集まりました。

地域から出る使用済み食用油を、障がい者の人たちを使って回収する社会システムを新しく創る。そして集めたこの未活用資源と、この地域から産出する使用済み潤滑油をベースにした「エスオイル」と均質に混ぜる。

この今まで存在しなかった新しいエネルギー、「バイオオイル」はこの地域から産出する原料を集め、この地域で作る、この地域でエネルギー化する。そしてこの地域の経済に貢献することを基本理念とする。

つまり島根県から出た原料で作った「バイオオイル」は、すべて島根県内で使い、地域経済に貢献する。鳥取県から出た原料で作った「バイオオイル」は、すべて鳥取県内の地域経済に貢献することを目指します。

5月には、農業用温室暖房機メーカーであるN社での「バイオオイル」の燃焼実験が行われ、私たちも参加しました。今後改善の余地あるが、島根、鳥取両県の重

要産業である農業に貢献できる可能性が見えました。

今後は小型ボイラーでの燃焼実験を行い、小規模事業所、もしくは公官庁での利用を目標にして、品質改善を続けます。私の夢は、鳥取県庁と島根県庁のボイラー用燃料として採用され、未活用資源を有効に活用するという重要な意義を、自らが県内外に示してもらうことです。

このプロジェクトの最終目標は、これからさらに高齢化社会が進むと考えられるこの地域に、社会的な弱者である障がい者の方たちの力を活用して回収する。同時に各排出事業所もしくは各家庭ともども、未活用資源を使って地域貢献するという、高い社会的意義と一緒に感じてもらう。

排出する人ヨシ、集める人ヨシ、作る人ヨシ、使う人ヨシの、四方ヨシ！の関係を、皆が力を合わせて創ります。そしてこの自然豊かな美しいふるさとを、私たちが守っていくのです。

（注：これからの私たちのスローガンです。エスオイル：使用済み潤滑油をリサイクルした燃料の自社ブランド。バイオオイル：エスオイルと使用済み食用油を均質に混合した新燃料の自社ブランド）

私はこう考え、こう実行します

【安原】小さな事でも自分に出来る地域貢献を考え実行します。

【松下】リサイクルできるものはリサイクルし、不要なものを出不さないよう、生活を見直す。

【河上】生産可能燃料を利用していく。

【岸本】美しいふるさとを守るために自分や自分の部署で何ができるかを考える。

【榎並】私たちにしかできないサービスをお客様に提供します。

【山口】私は美しいふるさとを守るために収集したオイルを大切にします。

【木村】新しいエマルジョンブレーカーの試験をし、使えるようにする。

【吾郷】私に課せられた業務を確実に実行する。

【大國】発想を豊かにもって挑戦する気持ちを忘れない。

【木村憲】四方ヨシで商品づくりをします。

【岡田】No.1タンクに天ぷら油を入れ、家庭から出る油をリサイ

クルします。

【松本】地域循環サイクルを大切にします。

【高橋】私は会社継続の計画の一つと考え、バイオオイル事業を進めていきます。

【恩村】正確なデータ管理を心掛けます。

【小村】自分達でできることを最大限活用し、この地域の環境を守る。

【植尾】高齢者の力になれる人になります。

【長谷川】地域密着でお客様に貢献します。

【藤原拓】お客様に喜んでいただける廃油タンクを製作します。

【金森】もったいないことはしない。

【安達】貴重なSオイルを安全にお届けする。

【野々村】この美しいふるさとを守るため、高い意識を持って行動します。

【田中】バイオオイルとともに、地域に貢献します。

【宮北】もったいないの意識を高く持ち、原料を無駄にしない。

【松浦】自分の出来る範囲で地域貢献に協力します。

【石川】工場運転に必要な知識を身につける。

【石橋】使用済み食用油の連絡があれば、すぐに引き取りに向かいます。

【中村】現場にて、整理・整頓・清潔・清掃・安全（KY）を徹底し、安全作業ができるように常にチェックして作業を行います。

【足立】スローガンを常に意識し、自分に与えられたことを丁寧に行ないます。

【藤田】資源を大切に、もったいないの精神を忘れません。

【三原】少しでも山陰の地域経済に貢献していけるよう、自分ができることを精一杯やっています。

【長野】積極的な心をもって新しいことに挑戦する勇気をもつ。

バイオ再生重油全体会議

～事業系使用済み食用油の回収の為
の手續きについての報告～

監督機関である出雲保健所の指導により、「期間限定の実験」から許認可事業所が行う、「産業廃棄物の収集運搬と積替保管場所」への整備をすることになった経緯を説明し、事業系から排出される使用済み食用油を取り扱う事務手続きと整備について参加者全員に理解していただき、当初の計画から半年間遅れましたが、実験開始の目途が立ったことを報告しました。

具体的には、6月末より松江地区から回収実験を始め、7月前半には出雲地区での回収実験を行う予定です。なによりスタートを切ることができたことが、まずは喜ばしいことと感じています。

この先、実験を進めるにあたり、さまざまなトラブルや改善点があると思われます。一つずつクリアしていき、安定した原料を確保する回収システムの構築と、この福祉と一体となった社会的に意義のある取り組みに参加する皆さんと共に幸せを感じ合える日を目指し、微力ながら努力してまいりたいと思います。(高橋)

「効率化は誰のためか」

サービスや施工方法を改善して効率化を図ることは、生産性を上げ、利益を確保するためには欠かせないのでない活動だと思えます。利益を確保し続けなければ会社も存続できなくなるからです。

しかし、改善やそれによる効率化は決して会社の都合であってはならないと思えます。何のために効率を高めるのかを考えた時、まず一番は「それはお客さまに喜んでいただけることか」ではないかと思えます。お客さまに喜んでいただき、お客さまの利益に繋がり、そしてそれを評価して頂き、その対価として私たちも利益をいただくことができると考えます。

「こうすれば今までよりも時間を掛けなくて済む」とか「こうすればコストが抑えられる」とか、自分たちの都合から始める改善と、お客さまの立場にたってお客さまの利益を優先して始める改善と、同じ改善をしてもその考え方の出発点が違えば、ただの自己満足に過ぎないのではないかと思います。

「お客さまの利益になる改善」を目指したいと思えます。(安原)



事務所入り口軒下の照明器具の上に4月中旬頃、ツバメが巣を作りました。そして、6月30日、巣立っていきました。親鳥は、巣立った後もえさをとってやって来ます。巣の中は空っぽですが、しばらくは巣のそばを離れません。子を思う親の気持ちは皆同じようです。(大國)

元氣の出る言葉

中村天風師



他人に好かれる人になる

有意義な幸福な人生をおくるのに、根本に大切なことです。

「他人に好かれる人になろう」と努力することを、日常生活の中で注意していかねければなりません。そのために、自分の悪いところを是正していく。

どんなときでも笑顔を忘れず、周囲に気を遣える人間になっという。

(長野)



「かぼちゃの花」花には、雌花と雄花があります。雌花は、花びらの下の部分(子房)がふくらんでいます。左写真は雄花のようです。我が家に自生しました。

社長が薦める今月の一冊

神道と日本人

葉室頼昭著 春秋社刊



15年前に発刊されたこの本に出合ったのは、全く偶然でした。東京のJR新橋駅前の古本まつりのテント村を歩いていて、この本の背表紙が私の目に飛び込んできたのです。思わずページを開いてみると、前の所有者がていねいに赤線を引いて読んでいたのが判りました。

なぜ神道に私が興味を持ったのか？智頭町の河野神社の宮司さんに大國社員が親しくしていただいて、そのご縁で私にも親しくしていただけるようになりました。

そのお方とお話するたびに、造詣の深さと凛とした言動、姿勢に引き寄せられるものを感じます。その人の背景に神道があると感じたのです。その上お祭りの時、12～3才の巫女さんに惹かれました。立ち居振る舞いに何とも言えない魅力を感じました。3才の時から神社のお祭りのお役をしていることを聞きました。何かがあると感じるのは当然です。

「神道には決して武力で何とかしようというのはないですね。自然に恵まれているから、まわりをかえてどうこうしようということは、日本人にはないんです。ただ感謝する。これが神道の核心です。（P30本文より）」

著者は、64才で医師を卒業され、67才で奈良春日大社の宮司になられた方です。豊かな自然が生んだ、素晴らしい日本人の心に目覚めてもらいたいと訴えています。（山根）

編集後記

久しぶりに出雲市斐川町の出西窯へ行く機会がありました。関西や関東でも出西窯の器をみることであり、その人気の広がりを感じます。各地で展示会を開催されるようですが、即日に売り切れることもあるそうで、今や出西窯を知らない人はいないのではないのでしょうか。

最近では、レンタカーで訪れる県外の観光客が多いということです。展示室の一角で、好きな出西窯のコーヒーカップでコーヒーがいただけます。田園風景を見ながら、ほっと一息つけるひとときです。山々は緑鮮やかで心地よい西風に吹かれ、旅の疲れも癒されるにちがいありません。

日常使いの皿や碗など、土の温かみを感じられ、また特徴的な藍色の美しさにひかれ、皿を何枚か購入しました。爽やかな風を感じられる、今の時期にぴったりの食器に出会い、ささやかな幸せを感じました。（長野）

「君に成功を贈る」（中村天風）を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。本代は¥1,800+税（税込1,944円）です。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名に鳥取名産二十世紀梨を差し上げます。クイズの締切は7月末です。奮ってご応募下さい。

Q：20回目を迎えたサッカーのワールドカップですが、過去に最も優勝が多い国はどこで、何回でしょう？

先月号の答は、「2対1でコートジボワールの勝ち」でした。倉吉市涌嶋様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙（答）

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着情報

- | | | |
|----------------------|-----------------------|-----------|
| ・神道と日本人 | 葉室頼昭 | 春秋社 |
| ・神道 感謝のころ | 葉室頼昭 | 春秋社 |
| ・〈神道〉のころ〈新装版〉 | 葉室頼昭 | 春秋社 |
| ・人づくりの事業継承 | | 中央経済社 |
| ・新人OLひなたと学ぶ トヨタのPDCA | どんな会社でも評価される
原マサヒコ | あさ出版 |
| ・男一匹、負けたらあかん | 越智直正 | 日本経営合理化協会 |



発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部長 長野

E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば印刷係

ホームページリニュアル (<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。